

人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち五霞 平成22年度施政方針 (要旨)



新年度に臨む私の所信及び町政運営に関する基本方針を申し述べさせていただきます、皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

我が国の経済動向は、100年に一度といわれた世界的な経済危機から海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されておりますが、依然として厳しい状況にあります。

また、歴史的な政権交代が行われ、「地域主権」の確立に向けた動きが今年から本格化し、夏にはその基本方針となる地域主権戦略大綱(仮称)が策定される見込みであり、今後、国と地方の関係が抜本的に見直され、新しい国のかたちが見られるものと期待しております。

こうした中、国の平成22年度政府予算案を見ますと、子ども手当などの政権公約の施策を反

映した結果、予算規模を示す一般会計総額は、前年度当初と比較して4.2%増の92兆2,992億円となり、2年連続で過去最大を更新しました。また、新規国債の発行額は過去最高の44兆3,030億円となり、当初予算段階では戦後初めて国債発行額が税収を上回りました。

また、県の予算案に眼を向けますと、「生活大県づくり」を指し、医療、福祉、教育など生活に密着した分野に重点的に配分し、特に、小中学校の少人数学級の拡大や、境西高跡地に特別支援学校の整備に向けた実施設計の計上、医療費助成制度を小学校3年生まで拡大するなど、未来を担う人づくりを見据えた予算編成となっております。

本町の財政状況は、一般財源が数年減少を続けている状況下で、行財政改革の着実な実行による歳出削減や財源確保を行い、基金の取崩しを最小限に抑えてきたところでありますが、本格化した地方債の償還や社会保障関係経費の増大、特別会計への繰出金の増加など、財政構造の硬直化が一層進んでいることから、この厳しい状況が続いていくことを前提とした行財政運営を行うっていく必要があります。

平成22年度予算編成は、経済

情勢、地方財政計画等を踏まえ、「歳入に見合った歳出」を基本とし、財政の健全化と町の活性化に資する施策を進めていく一方、より一層の徹底した見直しによる歳出の大幅な削減に努めるとともに、歳入面ではあらゆる財源確保を講じ、安定的で持続可能な行財政運営の確立に向けて、必要なサービスの維持と効率化に努め、優先順位に基づく事業の選択と重点化が基本であることとし、一般会計が35億9,000万円と昨年の予算に比べ、9,000万円の増額となり、特別会計をあわせた予算の総額は、59億3,139万2千円と、昨年の予算に比べ、1,311万円の増額となっております。水道事業会計予算につきましては、損益勘定では、収入が5億1,051万5千円、支出が5億978万4千円、資本勘定では、収入が1,990万円、支出が2億5,035万2千円とそれぞれ減額となっております。

- ①豊かな自然と安全を育む
 - ・環境・防災・防犯
 - ・広域行政の推進
 - ・防災体制の充実
 - ・児童生徒の安全確保
 - ・地球温暖化問題への取組
 - ・木造住宅耐震診断の助成
- ②健やかと安らぎを育む
 - ・健康・子育て・福祉
 - ・高齢者世帯への個人住宅用火災警報器設置事業
 - ・地域子育て支援拠点事業
 - ・少子化対策事業の充実
 - ・乳がん、子宮頸がん検診助成
 - ・インフルエンザワクチン接種費用の助成
- ③人と文化を育む
 - ・教育・文化
 - ・学校活性化支援事業
 - ・教育活動指導員の配置
 - ・児童生徒の体力づくりの支援
 - ・教育委員会へ県派遣指導主事の設置
 - ・町史編さん調査事業
 - ・総合運動公園整備事業の推進
- ④ゆとりとるおいを育む
 - ・都市基盤・生活基盤
 - ・圏央道IC周辺整備の推進
 - ・下水道処理施設長寿命化計画の策定
 - ・大福田水処理センターの改修
 - ・道路改良及び維持補修工事の計画的な整備
 - ・堤防強化対策事業の促進
 - ・上下水道施設の維持管理業務

- ⑤豊かさや活力を育む
 - ・消費生活相談窓口の設置
 - ・地盤沈下対策事業の推進
 - ・水稲育苗箱施用薬剤助成金
 - ・生産調整推進事業の推進
 - ・エコ農業茨城推進事業への助成
 - ・道の駅「ごか」を活用した農業の振興と活性化
 - ・雇用体制の充実
- ⑥ともにまちを育む
 - ・まち・地域づくり・行財政運営
 - ・町勢要覧の策定
 - ・協働のまちづくりの推進

の包括的民間委託の導入・定住化促進事業の推進

以上、平成22年度の町政に対する所信の一端を申し上げますが、これら諸施策の執行にあたりましては職員ともども全力で取組んでまいります。このように地方自治体を取り巻く状況が大きく転換しようとする今、町長として町民の皆様の手頭に立ち、困難な課題に果敢に挑戦し、将来にわたって持続可能な財政基盤の構築を行い、五霞町の希望ある未来を切り拓いてまいりたいと存じます。

また、まちづくりのキーワード「絆」を大切に、第5次五霞町総合計画のスタート元年、町の将来像「人がきらめきだれもが安心・安全に暮らせるまち五霞」の実現に向け、皆様のご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。